



大阪・関西万博の 教育現場での活用について

OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

令和8年1月20日

総合政策環境部

- 1 大阪・関西万博開催結果
- 2 万博を契機とした京都の取組の実績と成果
 - － 万博会場の取組
 - － 府内の取組
 - － 子どもの大阪・関西万博体験支援事業
- 3 万博を契機とした取組のレガシー

1 大阪・関西万博開催結果

(1)正式名称：2025年日本国際博覧会

(2)テーマ・コンセプト

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

コンセプト：未来社会の実験場

(3)開催場所： 夢洲（大阪市臨海部）

(4)開催期間：2025年4月13日 ～ 10月13日（184日間）

(5)来場者数：**約2,558万人**

※**教育旅行関連では130万人程度（国が掲げた120万人の目標を達成）**

(6)参加招致：158の国・地域、7国際機関

(7)国内パビリオン出展者：17者



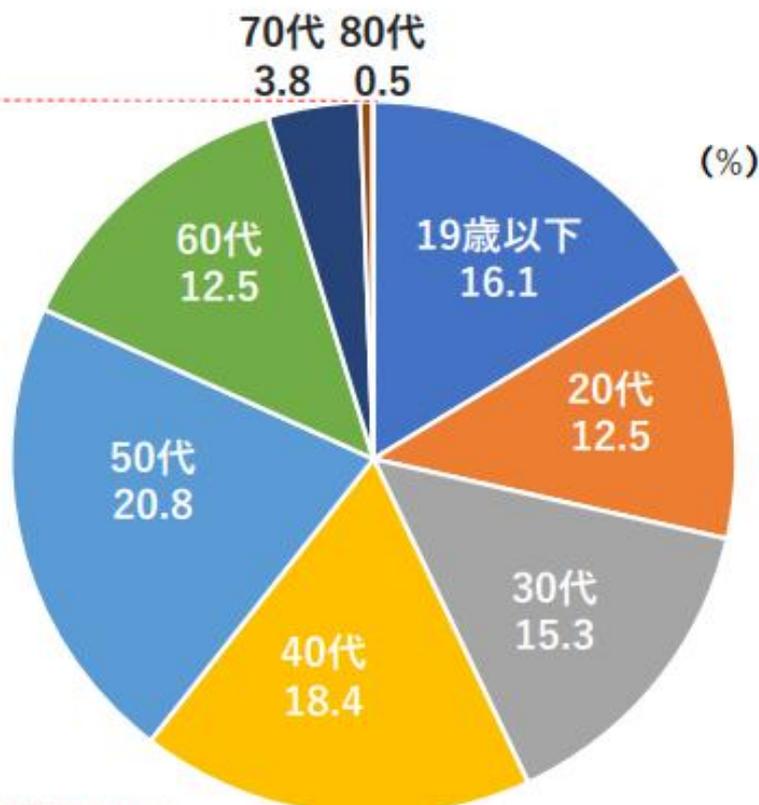
公式キャラクター
「ミヤクミヤク」



1 大阪・関西万博開催結果

※博覧会協会資料より抜粋

チケット入場者の年代構成比【推計】



万博IDに基づく来場者の都道府県別割合

NO	都道府県	構成比
1	大阪府	41.16%
2	兵庫県	12.80%
3	東京都	7.98%
4	愛知県	4.85%
5	京都府	4.56%
6	神奈川県	3.61%
7	奈良県	3.52%
8	滋賀県	2.18%
9	埼玉県	1.90%
10	千葉県	1.90%

2 万博を契機とした京都の取組の実績と成果

関西パビリオン京都ゾーン及び多目的エリアに出展

万博会場の取組

【来場者数】

京都ゾーン：約2,500人／日、累計約47万人（184日間）

多目的エリア：累計約6万人（12日間）

※関西パビリオン累計来場者数：約148万人

累計約53万人



京都ゾーン入り口



京都ゾーン空間



関西パビリオン閉幕日

2 万博を契機とした京都の取組の実績と成果

万博会場EXPOホールでEXPO KYOTO MEETINGを開催

万博会場の取組

○「和のこころと地球の未来」を全体テーマとし、京都にまつわる5つのテーマで**世界に向けて問いを発信するトークセッション**を実施。トークセッションの間には**伝統芸能のパフォーマンスやユースのステージ**なども披露。

■ 日程

令和7年4月23日（水）10:00～18:45

■ 会場

EXPOホール「シャインハット」

■ EXPO KYOTO MEETINGにおける トークテーマ

パート	テーマ
全体テーマ：「和のこころと地球の未来」	
第1セッション	いのちとこころが創る文化と環境
第2セッション	ファッションと伝統の未来
第3セッション	地域発信からつながる未来 ～地域資源と共生への道しるべ～
第4セッション	百寿社会のデザインとウェルビーイング
第5セッション	人間とは、いのちとは何か ～テクノロジーと人間が共存する未来～

実績

■ 来場者数

約6,000人

■ 京都への誘客

翌24日（木）には、出演者等を京都に招待し、府域交流ツアー及びレセプションパーティーを実施



2 万博を契機とした京都の取組の実績と成果

府内の取組

- 「万博の機運醸成の取組」や「万博会場から京都府内各地への誘客など、府内の活性化を目的とする取組」の中で、イベント、会議、展示会、ツアーなど、具体的な形になったものをアクションプランに位置付け。
- 昨年12月に「**大阪・関西万博きょうとアクションプラン**」の**326件**の取組について成果を報告。

アクションプランの構成

- ①大阪・関西万博きょうと推進委員会が実施する取組
- ②大阪・関西万博きょうと推進委員会参加団体が実施する取組
- ③その他基本構想に賛同する企業や団体が実施する取組

フラッグシップ・アクション

アクションプランの中で、広域的な取組や、民間の多様な主体と連携して進める11の取組を抽出

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ



万博を契機とした府域への誘客促進のため、京都駅に京都の万博情報発信拠点「EKISpot KYOTO」を設置するとともに、京都駅周辺一帯で京都の文化芸術の魅力発信するため、「GATEWAY.KYOTO」を実施。

和食と世界の食サミット



府内各地で育まれてきた食の魅力を発信する「京都 食の博覧会」や、和食を科学や歴史などの多角的な視点から紹介する特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」、万博会場におけるシンポジウムなどを開催。

きょうとまるごとお茶の博覧会



大阪・関西万博を契機に国内外の方々へ京都の茶文化を発信するため、万博期間中、府内各地で京都の茶文化を支える方々と一緒になって様々な取組を展開。（延べ144事業）

けいはんな万博2025



4月13日の開会式を皮切りに、ロボット・アバターをはじめ、けいはんな学研都市で生まれた先端技術を体験できる延べ74件のイベント・プログラムを半年間にわたって展開。

2 万博を契機とした京都の取組の実績と成果

子どもの大阪・関西万博体験支援事業

万博は、多様な国の文化や価値観に触れ、国際理解を深めるとともに、未来社会について考える貴重な機会であることから、**子どもたちが校外学習など教育の一環として万博を体験できる機会をもてるよう支援**

期間

万博会期中（令和7年4月13日～令和7年10月13日）

対象

京都府の小学校（全学年）、中学校（全学年）、義務教育学校（全学年）、高等学校（全学年）、特別支援学校（小・中学部及び高等部の全学年）、専修学校高等課程（全学年）が学校行事として行う**教育旅行に参加する児童及び生徒**

内容

校外学習で万博に行く際の入場料金を支援

前期学校団体割引券
(開幕から7/18まで)

高校生 2,000円

中学生
小学生 1,000円

後期学校団体割引券
(7/19から10/13まで)

高校生 2,400円

※引率教職員の料金について、当該学校長から申請があり協会が認めた場合に限り無料で入場できます。



京都府子どものおお阪・関西万博体験支援事業の実績

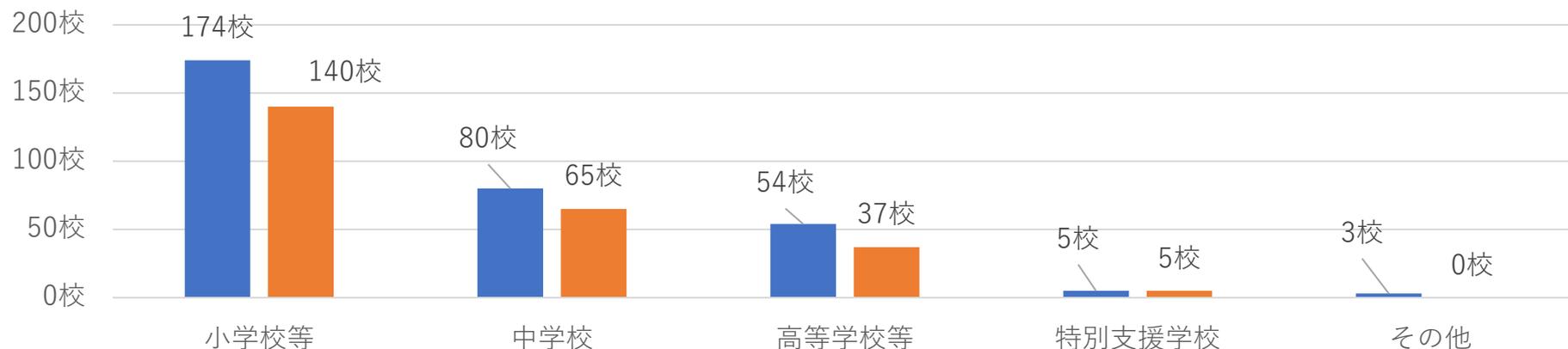
概要

- 府内の**316校**の学校、**約62,000人**の児童・生徒が万博会場に来場
- 意向調査で事業を「利用する予定」と回答した数を大幅に超える数の学校が万博会場に来場
- 来場時期は概ね意向調査と同じ傾向

来場校数（校種別）

（校）

	小学校等	中学校	高等学校等	特別支援学校	その他	合計
来場校数	174	80	54	5	3	316
意向調査 「事業を利用する」	140	65	37	5	-	247
割合	124%	123%	146%	100%	-	128%



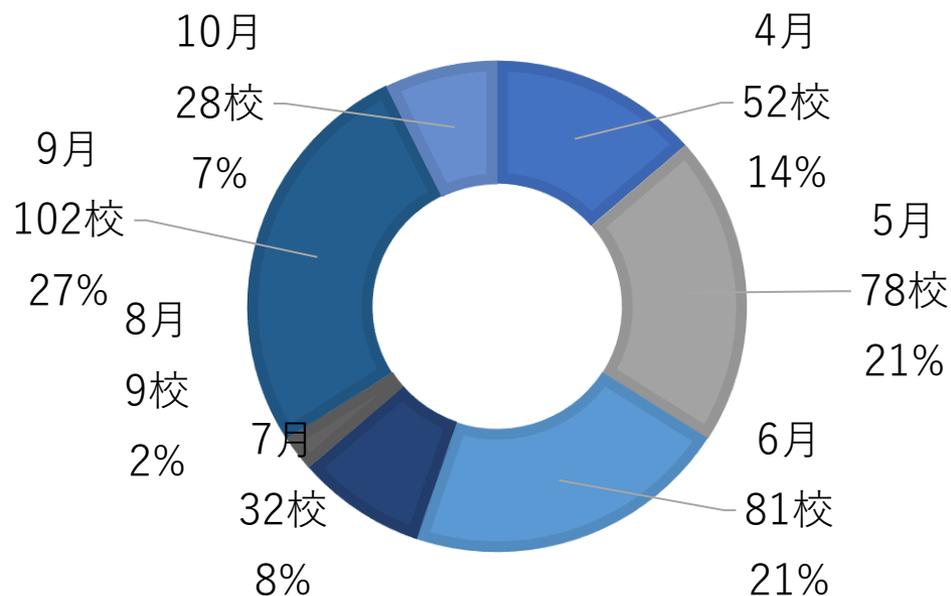
京都府子どものおお阪・関西万博体験支援事業の実績

来場人数

	小学生	中学生	高校生	合計
来場人数	21,075人	18,539人	22,295人	61,909人
割合	34%	30%	36%	100%

※「特別支援学校」及び「その他」の生徒は、年齢によって相当する区分において計上

来場時期



※学年ごとに別日程で参加した学校は来場月ごとに複数回カウント

3 万博を契機とした取組のレガシー

【万博を契機とした京都の取組のレガシーとは・・・】

万博を契機とした京都の取組の成果の中で、文化・環境、産業、観光、地域、いのちの分野において、**中長期的な視点で新たな価値やつながりを生み出すモノやコト**

ポスト万博シティ

「**けいはんな万博2025**」の成果を生かし、**ポスト万博シティ**として最先端技術等の社会実装を進める。

京都の茶文化を支える人々のつながり

京都の茶文化を支えるための新たなつながりが生まれた。今後も誰もが茶文化に親しむ取組につなげる。

一座建立

来場者や他の出展者、他のパビリオンとの交流により、様々な新しいつながりや取組が生まれている。

子ども・若者の参画

子どもたちの探究の成果が**府内高校の教材**となるなど様々な施策に発展。今後も参画の機会を創出。

スタートアップの成長・新技術等の社会実装

万博会場内の様々な場面に参画し、京都の**革新的な製品やサービス**が国内外の多くの人に認知。

関西広域周遊観光

380の新たな旅行商品が造成。関西を「面」で提案する仕組みなどを活用し、**更なる広域周遊を促進**。

京都駅周辺一帯の再定義

文化・芸術や地域の魅力を感じられるウェルカムエリアであり、**府内誘客の玄関口**であることを明確化。

淀川舟運の復活

62年ぶりに「伏見航路」が復活。京都と大阪を結ぶ新たな観光コンテンツとして未来に繋げる。

3 万博を契機とした取組のレガシー

万博に関連する様々な取組に子ども若者が参画

万博会場内や府内の取組において、次代を担う若者が企画・運営など主要な役割を担った

大阪・関西万博きょうとアクションプランに掲載している取組だけでも、**約5,000人**の子ども・若者が参画

<参画例>

- 万博会場で実施した「EXPO KYOTO MEETING」では、企画から学生が携わり、262人が参画。ユースがトークセッションに登壇し、京都の伝統や魅力、未来のために自分たちが何ができるかなどを発表した。
- きょうとまるごとお茶の博覧会の中で、「国際茶会」として府内の小中高・支援学校（22校）の児童・生徒が、万博参加国出身者等とお茶を通じて交流。
- 地球環境の殿堂・未来会議において、学生106名が環境と文化の関係性を探求。取組の成果として「未来への宣言」を世界に発信するとともに、府内高校の教材となるなど様々な施策に発展。



EXPO KYOTO MEETING
フィナーレ



オリジナルの和菓子とお茶で
ジャマイカ出身の方をおもてなし
(宇治市立笠取小学校)



地球環境の殿堂・未来会議

参考資料



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO

2025

大阪・関西万博について

会場図

大屋根リング：正面外観

大屋根リング2F：スカイウォーク



シグネチャーパビリオン

EXPOホール
「シャインハット」

日本館

ウーマンスパビリオン
in collaboration with Earth

住友 EXPO2025 推進委員会
住友館

パナソニックホールディングス
「ノボの国」

三菱大阪・関西万博総合委員会
三菱未来館

大屋根リング

静けさの森

EXPOアリーナ
「Matsuri」

未来の都市

営業施設

関西パビリオン

大阪ヘルスケア
パビリオン

日本電信電話
NTT Pavilion

供給処理施設

大阪・関西万博について

概要

(1)正式名称：2025年日本国際博覧会

(2)テーマ・コンセプト

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

コンセプト：未来社会の実験場

(3)開催場所：夢洲（大阪市臨海部）

(4)開催期間：2025年4月13日～10月13日（184日間）

(5)来場者数：約2,558万人

※教育旅行関連では130万人程度



【参加招致】

158の国・地域、7国際機関



公式キャラクター
【ミヤクミヤク】

展示・催事

※内閣官房/経済産業省資料より抜粋

① 公式参加パビリオン

万博に参加する各国政府・国際機関が企画するパビリオン

② テーマ事業パビリオン

8人のテーマプロデューサーが企画するパビリオン
「いのち」に関連するテーマをそれぞれ設定し、企画



③ 日本政府館

日本政府（経産省）が企画するパビリオン



④ 自治体館

大阪府・市が「大阪館（ヘルスケアパビリオン）」、
関西広域連合が「関西パビリオン」を出展



⑤ 企業パビリオン

民間企業等が自由に企画するパビリオン
※NTT,パナソニック,電気事業連合会 他

※万博会場内の各催事施設にて展示やイベントを実施

アクションプラン

「2025年大阪・関西万博アクションプラン」

により①モビリティ、②エネルギー・環境、③デジタル、④健康・医療

（ライフサイエンス）、⑤観光・食・文化・教育・スポーツ、

⑥科学技術、⑦その他の分野別に、内容、主体及び工程表を規定。



水素・アンモニア発電



自動運転の推進



ポスト万博シティ



福島復興の発信



空飛ぶクルマ



中小企業/スタートアップのPR



など

大阪・関西万博について

海外パビリオンの出展

※博覧会協会資料より抜粋



- 独自パビリオン：52か国
 - 協会用意の単独館：16か国[※]、3国際機関[※]
 - 協会用意の共同館：89か国[※]、5国際機関[※]
 - 民間パビリオン・協会利用建物等
- 共同館区画[※]**
- <コモンズ-F> (2か国)
 - ・ アルメニア、カザフスタン
 - <コモンズ-B> (24か国)
 - ・ エチオピア、ガイアナ、ガンビア、コートジボワール、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジャマイカ、ジンバブエ、セントビンセント及びグレナディーン諸島、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、ツバル、ドミニカ、ナウル、ハイチ、パラグアイ、東ティモール、フィジー、ベナン、ミクロネシア、モーリタニア、レソト
 - <コモンズ-A> (28か国)
 - ・ イエメン、ウガンダ、エスワティニ、カーナ、北マケドニア、ギニアビサウ、キルギス、ケニア、コソボ、コモロ、サモア、スリナム、スリランカ、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、ソロモン諸島、トリニダード・トバゴ、トンガ、バヌアツ、バプアニューギニア、パラオ、バルバドス、ブルンジ、ボリビア、マラウイ、モリシャス、ルワンダ
 - <コモンズ-C> (10か国)
 - ・ イスラエル、ウルグアイ、ガボン、グアテマラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、パナマ、モンテネグロ
 - <コモンズ-D> (25か国)
 - ・ アンティグア・バーブーダ、カメルーン、ギニア、キューバ、コンゴ、サントメ・プリンシペ、スーダン、赤道ギニア、タジキスタン、トーゴ、ナイジェリア、パキスタン、パレスチナ、ブータン、ブルキナファソ、ベリーズ、ホンジュラス、マーシャル諸島、マダガスカル、マリ、南スーダン、モルドバ、モンゴル、ラオス、リベリア
 - <国際機関共同館> (5国際機関)
 - ・ アフリカ連合委員会、イーター国際核融合エネルギー機構、国際科学技術センター、太陽に関する国際的な同盟、東南アジア諸国連合事務局

※区画決定済みの国・機関のみを記載

大阪・関西万博について

< テーマ事業パビリオンのコンセプト・展示イメージ > ※博覧会協会資料より抜粋 8人の万博プロデューサーによるパビリオン



いのちを守る

プロデューサー 河瀬 直美
いのちをあかし

コンセプト
わたしのなかのあなた、
あなたのなかのわたしに出会う場所



いのちを響き合わせる

プロデューサー 宮田 裕章
Better Co-being

コンセプト
Better Co-being



いのちをこむべ

プロデューサー 小山 薫堂
EARTH MART

コンセプト
「食」と「いのち」にまつわる当たり前を
リセットし、ひとりひとりの行動を変える
ヒントにあふれた市場



いのちを広げる

プロデューサー 石黒 浩
いのちの未来

コンセプト
技術と融合することにより、
いのちの可能性を広げる



いのちを育む

プロデューサー 河森 正治
いのちめぐる冒険

コンセプト
今、ここに共に生きる奇跡



いのちを高める

プロデューサー 中島 さち子
いのちの遊び場 クラゲ館

コンセプト
STEAM
ワクワク！を探す旅へ



いのちを知る

プロデューサー 福岡 伸一
いのち動的平衡

コンセプト
いのちは動的平衡



いのちを磨く

プロデューサー 落合 陽一
null²

コンセプト
デジタルヒューマンという新しい身体の写し鏡、
変形構造体建築による新しい風景の鏡、
デジタルとフィジカル二つの鏡を通じて
磨き輝く命の形を示す



万博を契機とした京都の取組

京都ゾーン

● 文化（4月13日～5月25日）



● 食（5月26日～6月15日、8月18日～8月31日）



京都ゾーン

● 食（5月26日～6月15日、8月18日～8月31日）



● 産業（6月16日～8月3日）



京都ゾーン

● 環境（8月4日～8月17日）



● いのち（9月1日～9月21日）



● 観光（9月22日～10月13日）



多目的エリア

● 春「MEET UP KYOTO ～きょうと大集合～」 (4月29日～5月4日)



● 秋「KYOTO FOOD EXPO」 (10月1日～10月6日)



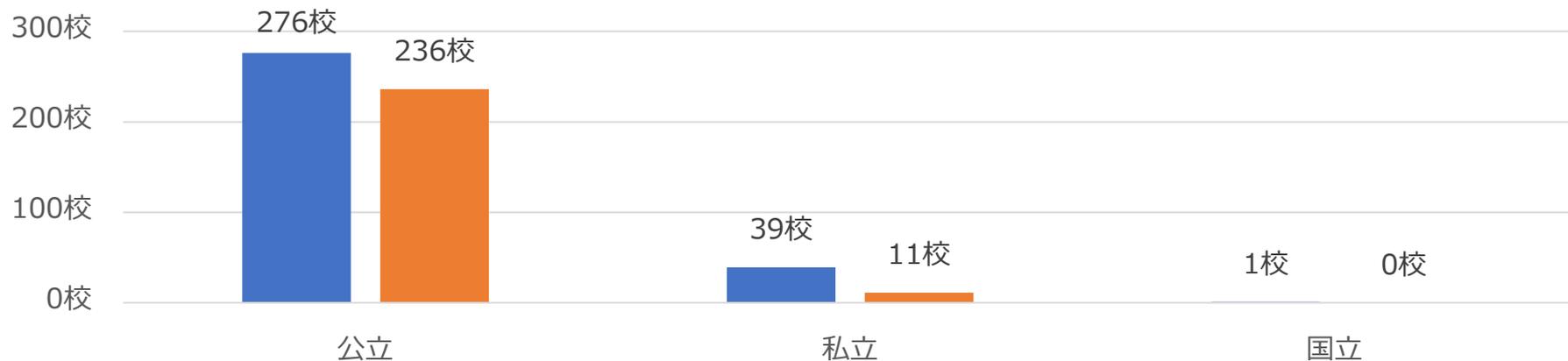
京都府子どものおお阪・関西万博体験支援事業の実績

来場校数（設置主体別）

➤ 全ての設置主体で事業を「利用する予定」と回答した数を超える数の学校が万博会場に来場

(校)

	公立			私立	国立	合計
	府立	京都市立	市町村立 (京都市立除く)			
来場実績	31	37	208	39	1	316
意向調査 「事業を利用する」	31	45	160	11	0	247
割合	100%	82%	130%	355%	-	128%



京都府子どものおお阪・関西万博体験支援事業の実績

来場校数（地域別）

➤ 全ての地域で事業を「利用する予定」と回答した数以上の学校が万博会場に来場

(校)

	京都市	乙訓	山城	南丹	中丹	丹後	合計
来場実績	79	30	62	32	72	41	316
意向調査 「事業を利用する」	63	19	48	32	46	39	247
割合	125%	158%	129%	100%	157%	105%	128%

